

## 令和4年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業受賞者の決定について

### 【要旨】

県では、本県三陸沿岸への研究人材の集積や海洋・水産研究の活性化を図るため、平成21年度から若手研究者を対象に、三陸をフィールドとした研究論文を募集・表彰する「岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業」を実施しています。

この度、令和4年度の受賞者を決定しましたので、お知らせします。

### 1 今年度の論文応募数

3名（学生の部3名、一般の部 応募なし）

### 2 受賞者及び受賞論文について

#### (1) 岩手県知事賞（1件）：岩手県三陸海域を対象とした海洋研究として優れた内容のもの

部門	氏名	所属	論文タイトル	受賞のポイント
学生の部	さいとう けいすけ 齋藤 祐介 (24)	岩手大学大学院 総合科学研究科	山田湾から発見した新規バイオプラスチック分解菌と分解酵素に関する研究	海洋生分解性のバイオプラスチックであるポリブタジエン4(PA4)の海洋環境における分解メカニズムの解明に寄与した。

#### (2) 特別賞（1件）：今後の研究継続により、更なる成果が見込まれる研究又は独創性が高い内容のもの

部門	氏名	所属	論文タイトル	受賞のポイント
学生の部	いしくろ ともひろ 石黒 智大 (24)	岩手大学大学院 総合科学研究科	三陸海域におけるコブダラ(旧名:エビイアケメ)の成長様式および漁獲物の年齢構成	三陸海域におけるコブダラについて、耳石薄片法に基づき成長様式を推定し、冬季に若齢魚への漁獲圧が高まる等、本種の漁獲実態を明らかにした。

### ※ 令和4年度岩手県三陸海域研究論文知事表彰事業 選考委員名簿

氏名	所属	職名	専門分野等
青山 潤 (委員長)	東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター	センター長	魚類生態学
菅野 信弘	北里大学海洋生命科学部	学部長	生理化学、応用生物化学
平井 俊朗	岩手大学三陸水産研究センター	センター長	生殖生物学、内分泌学、生産増殖学、分子生物学
齊藤 肇	国立研究開発法人水産研究・教育機構宮古庁舎	特任部長	水産生物学
神 康俊	岩手県水産技術センター	所長	水産学、行政関係者
藤原 由喜江	科学・情報政策室	室長	行政関係者

## 【参考】論文の概要について

### 1 岩手県知事賞（1件）

#### 【学生の部】

氏名	所属	論文タイトル
さいとう 齋藤 ゆうすけ 祐介 (24)	岩手大学大学院総合科学研究科	山田湾から発見した新規バイオプラスチック分解菌と分解酵素に関する研究
<b>【論文要旨】</b> 海洋生分解性のバイオプラスチックであるポリアミド4（PA4）の海洋環境における分解メカニズムを解明するために、分解菌の探索と分解酵素の諸性質解明を行った。岩手県山田湾から新規の分解菌を14種単離し、得られた分解菌由来のPA4分解酵素の精製に初めて成功した。精製酵素の諸性質を調べたところ、新規の分解酵素であり、ポリアミド6（PA6、通称ナイロン）も分解できる可能性が示唆された。		

### 2 特別賞（1件）

#### 【学生の部】

氏名	所属	論文タイトル
いしくろ 石黒 ともひろ 智大 (24)	岩手大学大学院総合科学研究科	三陸海域におけるチゴダラ（旧名：エゾイソアイナメ）の成長様式および漁獲物の年齢構成
<b>【論文要旨】</b> 三陸海域におけるチゴダラについて、耳石薄片法に基づき、年齢と成長の関係としてvonBertalanffy成長式を求めた。本研究により、これまで先行研究で最小二乗法により推定された成長式よりも、サンプルの偏りに対処したベイズ推定法で求めた成長式のほうがより精度の高いチゴダラの成長様式を示していると考えられた。また、季節別の年齢構成から、三陸域では冬季に若齢魚への漁獲圧が高まる等、本種の漁獲実態を初めて明らかとなった。		